

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公開番号】特開2007-163594(P2007-163594A)

【公開日】平成19年6月28日 (2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2007-024

【出願番号】特願2005-356592(P2005-356592)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 J

G 0 3 B 17/02

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月27日 (2010.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

防振のために移動可能な可動ユニットおよび該可動ユニットの移動に伴い移動可能なボールを有する防振ユニットと、

前記可動ユニットの動作を制御する制御手段とを有する光学機器であって、

前記制御手段は、前記可動ユニットに、前記防振ユニットの防振動作と、該防振動作とは別の動作であって前記ボールを可動中心位置に移動させるためのリセット動作とを行わせ、

該光学機器は、該光学機器により形成される被写体像を観察するためのファインダを有する撮像装置に装着可能であり、

前記制御手段は、該光学機器が前記撮像装置に装着されたことに応じて、該撮像装置の電源がオフであっても、前記可動ユニットに前記リセット動作を行わせることを特徴とする光学機器。

【請求項 2】

前記ファインダが、被写体の画像を表示する電子ビューファインダであることを特徴とする請求項 1 に記載の光学機器。

【請求項 3】

防振のために移動可能な可動ユニットおよび該可動ユニットの移動に伴い移動可能なボールを有する防振ユニットを有するとともに、前記可動ユニットの動作を制御する制御手段を有する光学機器と、

前記光学機器の装着が可能であり、該光学機器により形成される被写体像を観察するためのファインダを有する撮像装置とを備えた撮像システムであって、

前記制御手段は、前記可動ユニットに、前記防振ユニットの防振動作と、該防振動作とは別の動作であって前記ボールを可動中心位置に移動させるためのリセット動作とを行わせ

前記制御手段は、前記光学機器が前記撮像装置に装着されたことに応じて、該撮像装置の電源がオフであっても、前記可動ユニットに前記リセット動作を行わせることを特徴とする撮像システム。

【請求項 4】

前記ファインダが、被写体の画像を表示する電子ビューファインダであることを特徴とする請求項 3 に記載の撮像システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一側面としての光学機器は、防振のために移動可能な可動ユニットおよび該可動ユニットの移動に伴い移動可能なボールを有する防振ユニットと、可動ユニットの動作を制御する制御手段とを有する。制御手段は、可動ユニットに、防振ユニットの防振動作と、該防振動作とは別の動作であってボールを可動中心位置に移動させるためのリセット動作とを行わせる。該光学機器は、該光学機器により形成される被写体像を観察するためのファインダを有する撮像装置に装着可能である。そして、制御手段は、該光学機器が撮像装置に装着されたことに応じて、該撮像装置の電源がオフであっても、可動ユニットにリセット動作を行わせることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

さらに、本発明の他の側面としての撮像システムは、防振のために移動可能な可動ユニットおよび該可動ユニットの移動に伴い移動可能なボールを有する防振ユニットを有するとともに、可動ユニットの動作を制御する制御手段を有する光学機器と、該光学機器の装着が可能であり、該光学機器により形成される被写体像を観察するためのファインダを有する撮像装置とを備えた撮像システムである。制御手段は、可動ユニットに、防振ユニットの防振動作と、該防振動作とは別の動作であってボールを可動中心位置に移動させるためのリセット動作とを行わせる。そして、制御手段は、光学機器が撮像装置に装着されたことに応じて、該撮像装置の電源がオフであっても、可動ユニットにリセット動作を行わせることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明によれば、該光学機器の撮像装置への装着に応じて、該撮像装置の電源がオフであっても、可動ユニットにリセット動作を行わせる。このため、リセット動作による被写体像の変位が、ファインダを通して撮影者に見えないようにすることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 8 0 】

図 9 には、本発明の参考技術例としての実施例 3である一眼レフ撮像システムの構成を示している。本実施例の撮像システムの基本的な構成は実施例 1 の撮像システムと同じである。このため、共通する構成要素には、実施例 1 と同符号を付す。

## 【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 9 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 9 3 】

図 1 1 のフローチャートには、本発明の別の参考技術例としての実施例 4である一眼レフ撮像システムにおける防振ユニットのイニシャライズ動作シーケンスを示している。本実施例の撮像システムの基本的な構成は実施例 1 の撮像システムと同じである。このため、共通する構成要素には、実施例 1 と同符号を付す。